

行政の窓

原木及び木材製品の流通に関する見通し調査 (平成26年9月実施分)

1. 調査対象 道産針葉樹原木の消費量が概ね年間1千m³上の製材工場及び合板工場(調査対象工場数:120)
2. 調査実施時期 平成26年9月
3. 調査の内容 (原料在庫状況)前年同時期と比べた認識について選択式(「多い」「少ない」「変わらない」)により調査
(製品の荷動き)前年同時期と比べた認識について選択式(「良い」「悪い」「変わらない」)により調査
4. 企業判断指数の算出方法
[(回答全体のうち「多い」「良い」と回答した企業の比率(%)) - (回答全体のうち「少ない」「悪い」と回答した企業の比率(%))]
(最大値100/最小値-100)
5. 調査結果(回答工場数:105社 / 回答率:87.5%)

【①原料在庫状況(トドマツ)】

企業判断指数 (太字は調査時点の現状認識、斜体文字は見通し)

調査時点	H25.10-12	H26.1-3	H26.4-6	H26.7-9	H26.10-12	H27.1-3
H25.12	-59	<i>-53</i>	<i>-52</i>	-	-	-
H26.3	-	-51	<i>-61</i>	<i>-57</i>	-	-
H26.6	-	-	-17	<i>-28</i>	<i>-30</i>	-
H26.9	-	-	-	-9	<i>-13</i>	<i>-11</i>

原木在庫(「製材・木材チップ工場動態調査」より) (m³)

	H25.10-12	H26.1-3	H26.4-6	H26.7-9	H26.10-12	H27.1-3
当年	115,438	144,249	169,989	-	-	-
(前年)	152,841	173,072	158,997	150,082	115,438	144,249
対前年比	76%	83%	107%	-	-	-

(概況)

不足感は概ね解消されており、原料在庫は昨年と概ね同水準で推移する見通し。

(回答企業の主なコメント)

原木の単価が少しづつ上がっている/潤沢に入荷予定/原料はそこそこ入荷している/不足感なし/工場土場の貯材は見た目より多くなりません

【②製品の荷動き(トドマツ)】

企業判断指数 (太字は調査時点の現状認識、斜体文字は見通し)

調査時点	H25.10-12	H26.1-3	H26.4-6	H26.7-9	H26.10-12	H27.1-3
H25.12	71	<i>48</i>	<i>3</i>	-	-	-
H26.3	-	42	<i>21</i>	<i>6</i>	-	-
H26.6	-	-	23	<i>11</i>	<i>-1</i>	-
H26.9	-	-	-	18	<i>-6</i>	<i>-27</i>

原木消費量(「製材・木材チップ工場動態調査」より) (m³)

	H25.10-12	H26.1-3	H26.4-6	H26.7-9	H26.10-12	H27.1-3
当年	223,716	182,082	208,773	-	-	-
(前年)	207,331	166,827	210,223	221,576	223,716	182,082
対前年比	108%	109%	99%	-	-	-

(概況)

荷動きは前年の水準をやや上回っているものの、今後は減速していく見通し。

(回答企業の主なコメント)

グリーン材の荷動きが悪い/乾燥材は動いている/外材製品過剰/土木資材の生産が追いつかない/仮設材が増加気味/一般建築材はさほど忙しくない/住宅着工減の影響が出てきている様子

【③原料在庫状況(カラマツ)】

企業判断指数 (太字は調査時点の現状認識、斜体文字は見通し)

調査時点	H25.10-12	H26.1-3	H26.4-6	H26.7-9	H26.10-12	H27.1-3
H25.12	-63	<i>-61</i>	<i>-63</i>	-	-	-
H26.3	-	-56	<i>-69</i>	<i>-66</i>	-	-
H26.6	-	-	-43	<i>-38</i>	<i>-26</i>	-
H26.9	-	-	-	-6	<i>-13</i>	<i>-10</i>

原木在庫(「製材・木材チップ工場動態調査」より) (m³)

	H25.10-12	H26.1-3	H26.4-6	H26.7-9	H26.10-12	H27.1-3
当年	172,795	225,777	245,464	-	-	-
(前年)	242,441	276,500	248,342	214,987	172,795	225,777
対前年比	71%	82%	99%	-	-	-

(概況)

不足感は概ね解消されており、原料在庫は昨年と概ね同水準で推移する見通し。

(回答企業の主なコメント)

合板材単価が少し下がったが、動きは良い/出材は天候不順により遅れている

【④製品の荷動き(カラマツ)】

企業判断指数 (太字は調査時点の現状認識、斜体文字は見通し)

調査時点	H25.10-12	H26.1-3	H26.4-6	H26.7-9	H26.10-12	H27.1-3
H25.12	59	<i>55</i>	<i>12</i>	-	-	-
H26.3	-	72	<i>45</i>	<i>25</i>	-	-
H26.6	-	-	46	<i>29</i>	<i>6</i>	-
H26.9	-	-	-	35	<i>8</i>	<i>-14</i>

原木消費量(「製材・木材チップ工場動態調査」より) (m³)

	H25.10-12	H26.1-3	H26.4-6	H26.7-9	H26.10-12	H27.1-3
当年	280,344	271,336	318,689	-	-	-
(前年)	264,533	272,583	293,145	280,925	280,344	271,336
対前年比	106%	100%	109%	-	-	-

(概況)

荷動きは落ち着きを取り戻しつつあるものの前年を上回る水準。ただし、今後は減速していく見通し。

(回答企業の主なコメント)

原木さえ集められればかなり良い状況/梱包材の受注は横ばいで行くと思われる/集成材原板の注文が停滞しつつある/納期短くなってきている